

北海道大学大学院農学院の教育課程編成・実施の方針

(カリキュラム・ポリシー)

大学院農学院は、学位授与方針で掲げる人材を養成するため、次の特色ある取り組みと共に各専攻の教育課程を編成・実施します。

【特色ある体系的プログラム】

専攻毎の学問領域の先端的教育研究に加え、農学の多様性を生かした学際的かつ総合的な文理融合型教育を実施します。生存基盤に関する農学的諸問題に対して問題意識を持ち、専門性を有したジェネラリストとして、または高度なスペシャリストとして各専門領域において柔軟にかつ専門職倫理を持って対応できる素養と考え方を身に付けるための講義を開講します。

【国際性の涵養・特色あるプログラム】

英語による教育と研究指導を行う「英語特別コース」を全専攻で開設します。主として外国人留学生を対象とした大学院教育プログラムですが、日本人の参加も可能です。日本人学生が受講する通常のカリキュラムにおいても、一部の科目を英語特別コースと合同で開講することにより、国際的に活躍する能力の向上を図ります。

農学院として短期留学および国際学術プログラムや海外インターンシップ等の海外における農学関連の研究学習機会を提供・支援し、学生の積極的な参加を促すために国際交流系科目を設置します。

【キャリア形成の支援】

キャリアマネジメントセミナーとの連動講義等、本学人材育成本部上級人材育成ステーションと連携して、キャリア形成を支援します。

農学院の同窓会組織である札幌農学同窓会と協力し、各界で活躍する卒業生による講演や、海外での学会発表にかかる渡航助成を実施することで、学生が自身のキャリア形成に主体的に向き合う機会を提供します。

【教育の質保証】

高い教育の質を保証するため、教員の教員研修への参加を義務付けます。また学生に対し修了時アンケートを実施して農学院教育の質の向上のためにフィードバックを行います。

大学院農学院では、共生基盤学、生物資源科学、応用生物学、および環境資源学の専門分野に対応した専攻を配置し、以下の通りカリキュラムを編成し、実施します。

■修士課程

- ・ 専攻の専門分野における幅広い領域に対応できる知識・能力を修得するため、農学院の4専攻は協力して大学院レベルの科目群を農学院共通科目として開講します。
- ・ 各専攻では、各専門分野に関する高度の専門性を身に付けるために必要な科目群を開講します。
- ・ 所属研究室において修士研究および演習を開講し、問題を分析して解決する能力や学生自身が研究を進めて知識と技術を習得できるように指導します。
- ・ 2年次4学期末に修士論文研究の公開発表会を実施し、論文作成能力とプレゼンテーション能力の向上を図ります。
- ・ 国内外で開催される学術交流会などでの研究成果発表の機会を積極的に与え、研究領域専門家との議論を通じてコミュニケーション能力の育成と研究の進展を図ります。
- ・ ティーチング・アシスタント業務を通じて、様々な職業で必要となる教育力の向上を図ります。

■博士後期課程

- ・ 自立した研究者に必要となる問題解決力と論文作成方法を習得するため、各研究室において特別研究を開講し、テーマ発掘から論文作成まで博士論文研究を支援します。
- ・ 札幌農学同窓会等による助成を活用して研究活動を奨励し、優れた博士論文研究の支援を通して、研究企画力、課題推進能力、プロジェクト遂行能力の向上を図ります。
- ・ 札幌農学同窓会等による助成を活用して国際学会での研究発表を奨励し、国際的に活躍する能力の育成を図ります。
- ・ 高度なティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント業務等を通じて、大学あるいは農学の研究開発の場で必要となる優れた教育力とプロジェクト遂行能力の向上を図ります。